

刊夕日二月五



定価一冊二角五分... 発行所 常磐毎日新聞社... 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

### 四ツ倉町構成の一面観 (二)

於舊城跡 山口彌一郎

数はパーセントで出し、最下段の数字は家屋の幾パーセントが店舗であるかを示したものである。順序は西南の町端より海気館の方面に向ふ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
七八	五二	三五	六七	七〇	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二
二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五
三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二
四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四
三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六
四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二
四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二
四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二
四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二
四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二

これは数字のまゝでの観察は困難でグラフに描き出せば相当面白いカーブが表れてくる。先述の久ノ濱、豊間、小名濱、大津に就いての結果を総合すると、その間或る型がある様である。その標式的なものは小名濱に見られる、即ち大体に三区分し得る様である。入口より約五〇〇米附近迄は家屋密度も比較的少ない、一層店舗の割合が少ない。

五〇〇米附近迄は家屋の約五〇%までが店舗で占めてゐるのに六〇〇米の点で急に七九%にまで昇り一〇〇米附近まで六〇%乃至八〇%を昇降してゐる。この中部は何等普通の町の様式と變る事なく、商店の品物も全く地方農村を相手の即ち農村に依つて支へられ農村の核心都市としての型をもつてゐるものである。家屋密度は尚は一五〇〇米附近まで略七〇%前後を昇降してゐるが一二〇〇米附近で商店は一度急に低くなり、一四〇〇米、一五〇〇米と漸次昇り、家屋中の商店の割合が九〇%に達する四ツ倉町の最も繁華と思はれる部分に來る。然し町の様式は中央のとは違ひ、漁村の核心を思はせるものが多い。漁獲物の加工店舗及び荒物店等の品物にも農村の相手となく、漁村の相手を主眼とするらしい店の張り方である。

前述の様な調査方法に依つた観察を實際に當つて調べてみるのに、やはり四ツ倉町は最初より二つの異つた發達要素をもつ町の連続したものらしい。本町附近が最初田戸方面より移住して來た農村に依つて占居され、自然發達によつて地方の中心都市にまでなり、その西南部に延びたのはやはり農村或は半商半農型で、家の建て方、隣家との間隔も全く農業を主とする街村型である。新町方面は純漁村型の發達して來たもので最初より海に附いて發達して來てゐる。

第である。そして次に平町との勢力圏の關係、漁業人口と都市人口及びそれ等を支へる農業人口との關係その分布及び相互距離との關係等、四ツ倉町を眞當に考ひ、眞當に築き上げ様とする人々の研究しなくてはならない根本問題がある事

### 女給さん數名募集

ランチルーム 一の井

御希望ノ方ハ平町十五丁目 一の井ヘハガキデ申込下サイ

### 初夏のノミモノ

初め

- ブドウ酒 金拾銭
- レモン 金拾銭
- 水豆 金八銭
- アヅキアイス 金五銭
- ドーナツ 金五銭

おかへりにお立寄り下さい

### 魚清水卸部

魚清水 食堂

電話六三三

電話四六七

### 内科 難波 睦

醫學博士

平町新川端(釜屋新宅向)

電話五〇二一番

### 御禮

今曉近火の際は早速御断付御見舞を辱ふと消火に御盡力被下以御蔭様大事に至らず誠に難有奉深謝候混雑中に付略儀乍以紙上御厚禮申上候

山田 文庫  
大嶺 一  
久保田 パン店  
酒井 醫院  
伊藤 一

### 旭硝子株式會社製品

### 板ガラス

硝子 食器  
菓子 壺  
菓子 壺

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)  
仙臺市榮町 電話五九七番

### 伊藤 一

此度聚樂館南隣りの「世界」と云ふカフエーを私の姉が經營する事になりました姉は人の好い割に不運な身の上でした弟として私は何とか幸福な老後を送らせ度いと存じます。充分勉強するさうですから何卒皆様御ひいきを願ひます。

月曜言論

ルンペン難

過ぐる日の平警察署に連日連夜に至るルンペンの襲來に惶れを抱いてビストルの所持方を願出た山奥箕輪村の一軒家に住む炭焼き男があつた、單なる一話と観過すれば夫れ迄であるが恐怖感に居堪れずして十數里の道を遠しとせず腰辨當でテクリ來つた此の男の心境を思ふ時、一脈惘然たるものがある。

今や正にルンペン脅慄時代である、街道に、山奥にルンペンは満ち溢れて居る、そして彼等は生きんが爲めに、或る場合は哀れつばい聲をしぼり、又或る場合は威猛高に喰つて掛る、一軒家の炭焼き男ならずとも護身具の一つ位へ持つて居ない事には、到底憂如たる生活を期し難い状態にある。然るに其筋は何にが故に是れに對する嚴戒の手を加へ様としないか、ルンペンの輩出は社會的の欠陥に胚胎するの故を以つて、其の根絶を、社會的の總勘定に待たねばならぬものとして漫然觀過するのであつたとすれば吾人何をか云はん、今や良民の多數が共通的に是れが襲來の苦痛を訴ふる時、飯の上の蠅であるからと、見て見ぬ振りを極め、まんとの責任回避を爲すに非らずやと見らるゝ節多きを遺憾とする。

郡下除隊兵四十名

日出度く凱旋

けふの平驛頭賑ふ 熱狂的盛大な出迎

今回の滿洲事變に際し第一線に立つて奮闘した若松廿九聯隊は此程日出度く若松に凱旋し直に滿期兵の除隊を行つたので郡下出身除隊兵約四十餘名は本日午後三時五十三分平驛着替越線列車にて凱旋、平町では在郷軍人分會と協力し各戸に國旗を掲揚せしめ驛頭に熱狂的盛大な歡迎を行つた尙平町出身の除隊兵は左記兩君である

小泉弘(南町)佐藤武司(立町)

馬況不振

對策協議

畜産組合で

石城畜産馬組合では九日午前九時より團體事務所樓上に於いて總代人會を開會最近行はれた郡下各地の馬市場の取引相場が非常に不振であつた爲め是れが對策として産馬の改良其他に就いて協議を行ふと

平第一校が

圖書選定

第一豫選結果

平第一小學校にては來る五日磐中X會主催にて開かれ郡下各小學校兒童圖書展

公民科新設

磐女校にて

磐城高等女學校にては本年度より三四兩學年に公民科を設けたが担任教諭は鈴木光四郎氏である尙昨年設けた卒業生の志望者に課する研究科は本年志望者がなく廢止したと

平商の職員會

平商の職員會 平商業學校にては明日午後一時より職員會を開き去月二十五六の兩日原ノ町農蠶學校に開催された縣下實業學校長會議に出席された吉田校長の報告がある

吳服屋組合が

優良店員表彰

けふ總會を開いて

平町吳服屋組合にては本日午後四時より丸友ホール樓上に總會を開き豫選並に事業の報告あり優良店員の表彰式を行つたが式後一同は慰安の爲め世界館の映畫を見物した尙當日表彰された店員は左記十九名である

第三區校長

協議案

石城郡第三區小學校長協議會は既報の如く一昨日午後一時より平第二小學校講堂に於て開會されたが出席者は平第一小學校長外十五名にて協議案左の如くである

一、六月平第二小學校に於て手工、算術に付日十講習會を開催す  
二、本年度研究會當番校を左の如く定む

保護者會が

理事會開會

平町各小學校保護者會本年度理事會は三日午後三時より第一小學校に於て開催されるが理事は左の諸氏である

阿部政右衛門 永野柳造 坂本隆造 廣田德行 佐藤芳松 鈴木光吉 神山政一 根本品藏

火華を散らした

關東北庭球大會

古河對日立の決勝に

日立辛勝す

既報好間村古河炭礦第二新坑起業完成記念の關東北庭球大會は

昨一日午前十時より同礦小館グラウンドにて宮城茨城等より参加を迎へ七十

五チームがABCの三コートに分れ猛烈なカツプ争奪戦を行つたが強豪仙鐵チームは準決勝戦に敗れ結局古河チーム對日立チームの決勝に移り日立チーム惡戦

苦闘の上辛勝した當日の準決勝戦よりの成績は左の如くである

準決勝  
A 古河(矢野) 4-1 仙鐵(山上)  
B 古河(木田) 8-6 仙鐵(中野)  
C 日立(鎌田) 4-1 仙鐵(後藤)  
D 日立(鎌田) 4-1 古河(木田)

決勝戦  
日立(鎌田) 4-1 古河(木田)

關西の旅行

磐女修學旅行便り

(第四信) 賀茂川の流聲に今日また雨かと目を覺せば豫想外の好天氣、それには皆喜びました、七時半出發電車で桃山御陵に向ひ、御陵前に整列し禮拜すると屢時、此所で私達は明治大帝の御威徳をお徳び致したのであります、乃木大

弊社員矯正勝

上海出征中の處御蔭

様に依り四月二十九日無事水戸原隊へ歸還明日除隊平驛午後二時十一分着にて日出度凱旋致し候間出征に際し且つ不在中何かと御心配を頂き候各位に對し失禮乍ら此段紙上を以て謹告仕候

磐城建物株式會社

# 今晚から

## 仕掛花火

### 博覽會の催し

#### 萬歳掛合も開演

閉會の近づいた昭和産業博覽會にては後期以上の成績を納めた報恩的

奉仕として掉尾の一振を試むべく野外演藝場に於て藝妓の手踊を演進し活況を添ゆる一方連日景品を山積して寶探しを催し非常な評判を呼んで居るが更らに今晚から三日間に亘り目も綾なる仕掛け花火を点じて會場

附近に美觀を呈せしめ四日からは東京より掛合萬歳の美人歌島愛子一座を招いて餘興を賑しく演ずる事になつて居り一方昨今氣

つかはれた變態的な天候も漸く定つた

模様で、あるから參觀者締めき合ふ事であらうと見られて居る因に寶探し本日迄の福運者左記の如くである

(簞笥)大工町吉野屋(生きてる豚)仲町大野屋(研町松本己之松(蒸し焼器)平窪吉田イチ、香見川仲太郎、下山田キヌ、野崎リソ(手提、タオル半反)佐久間フジノ、新田町仲屋、研町猪狩岩三郎

## 磐城高等女學校の

### 寄宿舎に怪漢

#### 高イビキで寝る 中年の精神病患者

今朝午前五時頃縣立磐城高等女學校寄宿舎内に一名の怪漢が高イビキで寝て居たのを宿直員が発見直ちに平署に知らせたので署員が引致取調べると平町胡摩澤灘波資勝(○)と云ふ精神病患者と判明した

## 關東北 愛犬 品評會

石城愛犬俱樂部では來る八日午前八時より聚樂館に於

いて關東北聯合愛犬品評會を開催し一般の觀覽を歓迎すると

## 幼女を轢く

### 骨膜に達する重傷

石城郡湯本町鈴木自動車運轉手佐藤信秋(三)は昨日午後一時頃乗合自動車運轉手猪狩平町に進行中内郷村小島地内で同村御臺境今宮喜一郎の三女カッコ(七)を轢倒し頭部骨膜に達する全治四週間の傷を負はした

## 昨夜の 火事

昨夜十一時半頃平町十五丁目三十番地クローニング業齊藤市太郎方より發火し忽ち隣家の自動車運轉手猪狩正方に燃え移つたが急を聞いた消防隊の盡力により前記兩家二戸を焼いたのみで午前一時頃鎮火したが損害約三千圓で原因は目下平署にて取調中

## 妻を板の間に

### なげつけ 生命危篤の重傷

#### 借財の事から口論

石城郡神谷村大字上神谷字上居住佐藤才治郎(四)は卅日午後八時頃妻ウシノ(四)と借財の事から口論を始めたが逆上した才治郎は矢庭に妻を板の間に投げつけた處なか／＼起上らぬので見ると頭部を板の間に強打骨折したので身動も出来ぬ重傷に才治郎は驚き手當を加へたが生命危篤である

#### 故障ラヂオ 仙臺放

無料診査 送局にては石城郡内聴取者に對するサービスとして左記の日割に依つて技術者出張せしめ故障受信機其の他部分品の診査に應ずる由尙診査

## 鹿島の 山火事

### 廿町歩焼く

昨日午後二時頃石城郡鹿島村字松久須根地内山林の立木置場より發火し折柄の強風に吹きまわされ同地内山林三十餘町歩に燃移つたので同村消防、青年等が總

### 明日のラジオ

今晚は南風晴れ後曇り明日は曇り勝ちなし

報豫氣天

## 今晚の部

- 後六、〇〇(子供の時間)
- 「東西早廻り放送リレー」
- 「レリス」
- 後七、三〇 産業ニュース
- 後七、四〇 記念講演「全國青年諸君に語る」前北海道帝大總長農學博士男爵佐藤昌介
- 後八、〇〇 但詠「秋田おばこ」永井錦水外
- 後八、一〇 但詠「たんじ

## 明日の部

- 前九、一〇 料理献立「刺身の芥子酢みそ和へ」東北女子職業學校
- 前一〇、三〇 宗教講話「身延山に於ける日蓮上人一望月日謙

## 磐女校の 虎眼患者

### 昨年より減

磐城高等女學校にては去月二十八日既報の如く身体検査を施行したが本年度トラホーム患者は十二名にて昨年の十八名に比し六名減じたと

## 不正曆を 賣り歩く男

### 懷中には數十圓

平町長橋町地内を一日午後一時頃一名の男が怪しげな曆を押賣して居るのを平署員が押へて取調ると同人は相馬郡太田村字大田生れ千葉龜藏(三)と稱し發賣禁止となつた不正曆を五十錢にて賣歩き懷中には不正曆五百部と現金數十圓を所持して居た由

## みりの會で 金井氏講演

平町みのり會にては三日午後一時半から南町裡日本基督教會にて例會を開き帝都教界の名士金井爲一郎氏の講演を乞ふ筈にて會費十錢一般婦人の來聴を歓迎すると

## 平町人專

- 回 婚 姻
- △一丁目一〇 赤津衛之助氏(四六)長橋町一九 猪狩モト(三九)
- 回 死 亡
- △白銀町四五 當時内郷村字宮崎隆彌(二ツ)

## 吉田校長出張 平商

業學校長吉田利吉氏は來る七日より三日間東京市京橋區公會堂に於て開催される全國商業學校長協議會に出席する爲め六日午後五時二十にて出發するが八日午後一時より上野精養軒に開催される全國實業教育大會にも出席する筈

## 磐女入學教育程度 磐城

高等女學校本年度第一學年に入學した二百名の教育程度は左の如くであると

尋卒一六六名、高一修二四名、高卒一〇名

# 幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演  
近藤 紫雲畫

〔第卅九席〕 眞庭念流達人櫻井五助

近侍森川の放蕩

村上主殿は同僚の遠藤仁右衛門が殿様に愛されるを妬み詰所に遠藤が居ると他の者に向つて

主「各々武士は道徳をいたして出世するは恥だ、潔白でなければ武士でない、寵は辱なりと申す事もある寵愛を受けるは恥辱だ何故恥辱だと申すに自分だけの力を現してそれだけに用ゐられるは寵愛されたに相違ない、依つてちよは辱なり價格以上に主人に用ゐられるはだナ、事あつた時は、それより以下の働きより出来ない各々もちよ愛をされてはいかん」などといふ

仁右衛門は温厚な性質ゆゑさして主殿の申す事を心にも懸念するいふ意地ですから二人の間が圓満に納まらない、然し貴様は角のある主殿より圓い仁右衛門を愛すると近侍に森川甚平といふ者が居た、年は廿五であるがこれが放蕩無頼で町の料理屋で酒を飲み女をあげて騒ぎ、いよゝ勘定する段になると

甚「何程か」

○「有難う存じます、二兩二分頂きます」

○「それは安、是程の贅を盡して一兩二分とは意外だナ、附け落をあるといかん、今一應調べて見ろ」

○「ヘニ是で宜しうございませう」

○「相憎少し足りぬで」

○「少々位の御不足ならば

三百頂いたのでどうにもいたし方がございませぬ」

○「それは私も存じて居ります、且那のお供をして花屋から参りましてございませう」

○「花屋と云へば料理屋であらう、ウツ刺つた旦那の土産物を届け寄越たナ」

○「イエ御勘定を頂きに出ましてございませう」

○「さうか旦那はもうお寝みになすつたよ、明後日の朝出て来なさい」

○「それは困りましたナ、起して頂きたいものだ」

○「所がお寝みなさると起きないよ」

○「弱りさしたな、それでは明日上りませうが」

○「イヤ明日来ても勘定は取れない、お酒に酔つて寝ると二日位起きない、明後日の朝出て来い」

○「これは驚いたナ、どうも據ございませぬ、夫では又上ります」と歸つて行く中一日隔て取りに来ると甚平夫へ出て来て

○「ヤア花屋か、今日はいかんよ」

○「ヘエ叶かんと申しますは」

○「勘定を拂ふことは出来な、能く考へて見ろ、今日は七月の十日ではないか、總て勘定日は決つて居る、當家では十四日と晦日が拂ひ日だ、これは先祖の定めた事で武士は家法を尊ぶ依つて十四日に参れ」

○「それは十四日に参りますからお拂ひ下さいませし」據なく戻り十四日に來ると不在十五日に出て來る

○「参りましたがお留守でございませう」

○「さうか不在にした覚えはないが、これは取次ぎの者が俺が居らぬと思ひ不在と申した事であらう、然し今日拂ふ譯にはいかぬ晦日に参れ何を考へて居る歸れ」

○「威かされて花屋の若衆は驚いて歸り晦日に來ると今度は家法を改めて十三日と廿九日に拂ふことにしたから來月の十三日に出て來いと慥う云ふこれでは何度行くと勘定は取れませぬ」

○「何と故昨日参らぬと叱かれて

○「参りましたがお留守でございませう」

○「さうか不在にした覚えはないが、これは取次ぎの者が俺が居らぬと思ひ不在と申した事であらう、然し今日拂ふ譯にはいかぬ晦日に参れ何を考へて居る歸れ」

○「威かされて花屋の若衆は驚いて歸り晦日に來ると今度は家法を改めて十三日と廿九日に拂ふことにしたから來月の十三日に出て來いと慥う云ふこれでは何度行くと勘定は取れませぬ」

○「何と故昨日参らぬと叱かれて

○「参りましたがお留守でございませう」

○「さうか不在にした覚えはないが、これは取次ぎの者が俺が居らぬと思ひ不在と申した事であらう、然し今日拂ふ譯にはいかぬ晦日に参れ何を考へて居る歸れ」



お序に頂きます」

○「それが少々が重つて居る、只今所持致し居るは三朱と錢が三百、これで宜しければ置いて参る」

○「御冗談ばかり、一朱と十六で二兩でございます。勘定は千疋、そこへ一朱と

何と故昨日参らぬと叱かれて

○「参りましたがお留守でございませう」

○「さうか不在にした覚えはないが、これは取次ぎの者が俺が居らぬと思ひ不在と申した事であらう、然し今日拂ふ譯にはいかぬ晦日に参れ何を考へて居る歸れ」

○「威かされて花屋の若衆は驚いて歸り晦日に來ると今度は家法を改めて十三日と廿九日に拂ふことにしたから來月の十三日に出て來いと慥う云ふこれでは何度行くと勘定は取れませぬ」

○「何と故昨日参らぬと叱かれて

○「参りましたがお留守でございませう」

○「さうか不在にした覚えはないが、これは取次ぎの者が俺が居らぬと思ひ不在と申した事であらう、然し今日拂ふ譯にはいかぬ晦日に参れ何を考へて居る歸れ」

○「威かされて花屋の若衆は驚いて歸り晦日に來ると今度は家法を改めて十三日と廿九日に拂ふことにしたから來月の十三日に出て來いと慥う云ふこれでは何度行くと勘定は取れませぬ」

○「何と故昨日参らぬと叱かれて

○「参りましたがお留守でございませう」

○「さうか不在にした覚えはないが、これは取次ぎの者が俺が居らぬと思ひ不在と申した事であらう、然し今日拂ふ譯にはいかぬ晦日に参れ何を考へて居る歸れ」

○「威かされて花屋の若衆は驚いて歸り晦日に來ると今度は家法を改めて十三日と廿九日に拂ふことにしたから來月の十三日に出て來いと慥う云ふこれでは何度行くと勘定は取れませぬ」

## 「ロクマク」の人 心配無用

不治の病とは過去の事です、醫藥を用ひて抄々しくない方靈能偉力を有する「マムシ」を用ひて下さい、但し素人の幼稚なるマムシの服用法にては効果ありません、今回研究部員が秘法公開致します、遠慮なく相談にお出下さい。

◎特におすゝめ致し度い方説明書差上ります。

心臓病の人 胃腸病の人 性力欠乏の人 神經衰弱の人 体力の衰へたる人 食慾なき人 冷性婦人病の人 腎臓病の人

東京市淺草田島町九一川上蛇類研究所  
平町五丁目二二(金光堂時計店裏)  
代理販賣所 井内

## 正確の時計

お客様本位の……

王常盤屋時計店

好適の眼鏡

## 看護婦急派の求めに應じます

度量衡、計量器、吸入用酸素、酸素吸入器

平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

關内藥局  
電話四〇番